

一般社団法人 おおさき青年会議所

2026年度 まちづくり委員会 基本方針

まちづくり委員会委員長 狩野 嵩大

1. 基本方針

おおさき地域は、世界農業遺産「大崎耕土」に象徴される豊かな自然や文化、農業や商工業などの地場産業、地域への情熱と愛情を持つ人々に育まれてきました。一方で、投票率の低下、新規事業の伸び悩み、事業承継の遅れから、政治意識の希薄化や経済の停滞が課題となっています。こうした中で、地域の人々が主体的にまちに関わり、世代や立場を超えて語り合いながら未来を共に考え行動する、まちづくりの起点となる運動が必要です。

まずは、若年層を中心とした政治に距離感のある地域の人々を、地域課題に主体的に向き合う市民に変えるため、身近で重要なテーマである選挙に着目し、大崎市首長選挙に伴う主権者意識向上事業を実施し、候補者と地域に住まう人々が直接対話することで、政治やまちづくりへの参加意識が向上します。

そして、地域で育まれてきた産業を次世代へ受け継ぎつつ挑戦を支え合う人財を増やすために、世代や立場を超えて地域の人々が交流し、潜在的なアイデアが形になる場を提供することで、地域の人々が新規事業の創出や事業承継に取り組むきっかけを増やします。

おおさき青年会議所は多様な会員の強みを活かし、自ら考え、動き、仲間と共に課題に取り組んできました。まちづくり事業は異なる背景を持つ人々の架け橋となり、より多くの人々がまちの未来を主体的に考え、交流し合い、仲間と共に明日へ一歩踏み出そうと思える、持続可能な地域の起点を創出します。